

部活動サポート「鍼灸師による体作り・トレーニング指導」

中高バレー部員対象
体づくりアドバイス

中央区でセミナー

LPガス販売のエネジン（浜松市中央区）は、オイスカ浜松国際高校（同区）で、区内の中学、高校の女子バレーボール部員を対象にしたセミナーを開いた。61人が参加し、鍼灸師から競技に役立つ正しい体の使い方を学んだ。

部活動を盛り上げることで地域の活性化につなげる同社の企画の一環で、同校と積志、南部、神久呂の3中学校の生徒が参加した。



県西部で訪問型鍼灸治療を行いなから、スポーツする高校生の指導もする飯田康

セミナーで正しい体の使い方を学ぶ生徒ら―浜松市中央区で

祐さんが講師を務めた。

飯田さんは、ジャンプやスクワットを採り入れたさまざまなトレーニングを紹介。生徒たちは実際に体を動かしながら、下半身や腕の使い方を学んだ。

オイスカ浜松国際高校3年の鈴木柚波さん（17）は「アップにもつながる具体的なメニューを吸収できた。自分たちでメニューを考えているので、今後に生かしたい」と話した。

（鈴木みのり）

オイスカ高校の体育館にて、一部の中学校バレー部員も対象に、鍼灸師から体づくりのアドバイスやトレーニング指導を行いました。
部活動や地域のスポーツクラブを長い目でバックアップしていくことでスポーツを通して学校や地域が活性化することを目指していきます。

令和6年(2024年)4月19日(金) 中日新聞

